

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 徳岡真紀

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	掛田勝彦	経理責任者	増田誠宏
視 察 議 員	徳岡 真紀			
期 間	令和 5 年 2 月 8 日（水）			
視 察 先	大崎上島町 叡智学園中学高等学校・ 国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構(NEDO) カー ボンリサイクル実証研究助点「大崎上島クールジェン」			
視 察 用 務	広島県で国際バカロレアの資格を取得できる唯一の中学高等学校の視 察と、脱炭素にむけてカーボンリサイクルの実証実験を行う国の取組 の見学			
概要及び所見	<p>大崎上島町議 森ルイ議員、今治市議 くろかわ美樹議員に企画調整 頂き、県内外の 15 名 13 市町議会町議会議員らで見学に向う。</p> <p>広島県立叡智学園中学高等学校は、2019 年に大崎上島町に開講し た県立の全寮制中高一貫校。文科省も推進する国際的な教育プログラ ム「国際バカロレア」の認定校。「社会の持続的な平和と発展向け世界 のどこにおいても地域や世界のよりよい未来を創造できるリーダーを 育成する」ことをビジョンに掲げ、現在中学 1 年から高等学校 2 年ま での 5 学年、全国から 200 名の生徒が在籍。高校三年時に外国語で 受ける最終試験を受ければ海外大学の入学資格を取得可能。</p> <p>所見：私が注目するのは、定期テストは行われず、自分でテーマを決め てプロジェクト型の学習が主に行われているという点。常に自分で考 えるという探求型の学びが主体のため、授業への集中力が非常に高く、 授業に食いついている姿が印象的でした。板書型からタブレット端末 やパソコン、図書を使った探求型の授業が行われているところは、教員 の技量も試されるが、子どもたちにとってはこれからの不安定な社会 情勢を生きる上で非常に大切な学びが行われていると感じた。また、校 内の至る所に、学校の理念「ミッション・ビジョン・バリュー」の 3 つ</p>			

が掲げられており、子どもたちも教員も常にそれを意識して生活していることが伺える。寮も非常にきれいに保たれており、地元の柑橘農家さんから柑橘が届いていたり、地域の学校として認識が進んでいることが伺える。まだ、卒業生を出していないことから、先生らも寮の運営、学校の運営などについてはトライアンドエラーの試行錯誤をされているとのこと。授業においては、これからの学校教育のあり方の見本のような学校だと感じた。

#### NEDO大崎クールジェン

2012年から始まった大崎クールジェンプロジェクト。カーボンニュートラルな持続可能なエネルギー社会実現に向けての実証実験が行われている。これまで石炭火力発電は、二酸化炭素を多く排出するために、脱炭素社会を構築するために世界的にも削減の方向に向かっている中で、革新的な低炭素石炭火力、CO<sub>2</sub>分離、回収という実証実験が行われている。現在大崎クールジェンで回収された二酸化炭素を、敷地内にある企業や大学がカーボンリサイクルの実証実験の拠点に供給が始まっている。それによって、二酸化炭素をほとんど出さない石炭火力発電所が実現できる。

所見：個人的には、CO<sub>2</sub>を固定するつまりコンクリートの中に固めるといった取組で脱炭素を実現するということに関しては懐疑的なスタンスで見学を行った。それは排出されたCO<sub>2</sub>は、本来、自然のサイクルの中で循環されるべきだと考えるからだ。大学や企業が数社入った研究棟では、藻を使った実験が興味深かったが、本質的な解決方法につながるのかこれからも注視していきたい。